

- ◎ (教育基本法) 【人格の完成・平和民主国家形成者・心身健康】
- ◎ (新学習指導要領) 【生きる力をはぐくむ・確かな学力の確立】
- ◎ (静岡県) 【『有徳の人』づくり・よりよい自分をつくっていくために】
- ◎ (伊豆の国市) 【『未来を担う人』の育成・保幼小中の連携・豊かな感性】

校訓『正直・親切・勤勉』

《長岡中学校教育目標》

知・徳・体バランスのとれた生徒の育成

《平成27年度重点目標》

知 (学力向上)	徳 (高め合う仲間)	体 (体力向上)
聞く態度の育成 わかる喜びを味わわせる	規範意識の向上 自尊感情の深化	規則正しい生活の習慣化 忍耐力の向上

数値目標：学校評価アンケートで重点目標に関する肯定的回答 90%以上を目指す

評価
流れ

- ① 1学期終了時学校評価アンケート実施
- ② 改善策検討・2学期実践
- ③ 2学期終了時学校評価アンケート実施
- ④ 本年度の評価と次年度の教育課程編成に生かす

- 学校評価者委員会実施
- HPでの情報公開
- 学校便りで保護者報告

重点目標達成の手立て(学校経営目標・目指す教師像)

1 授業改善 ※授業を大切に

『一人一人にわかる喜びや達成感を持たせ、授業での居場所を作る』『研究授業』

2 親身になる・常に人権感覚を持ち子どもに人としての生き方「長中魂」を教える

『日々の指導で、教師の生き方(親身・人権感覚)を示し、子供に生き方を教える』
『親身に関わるために、常に声かけを意識する。感情的に怒る指導でなく、生徒の気持ちをしつくり聞き、諭す指導を心掛け、子どもが相談しやすい環境を作る。』

3 子どもを多面的に見る ※親身に関わる

『自尊意識・自己肯定感(思いやりの心)を高めるよう、子どもの良い点を見る』

4 安全指導と施設管理

『危機対応マニュアルの作成と訓練実施』『安全のための施設管理徹底に努める』

5 教育課程の工夫

『行事の精選、会議・事務量を減らし、子どもと過ごす時間確保や教職員の
気持ちのゆとりのために、仕事や教育課程の能率化・効率化に取り組む。』

6 思いやりを持ち、助け合い協調・協力しあえる職員集団 ※助け合う

『日々の地道な教育活動が大切であることを忘れない。』

『思いやりの心を持ち、互いに助け合い協調・協力できる職員集団を目指す。』

人権感覚